

2017 年度 小委員会活動成果報告

(20 18 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建築・不動産マネジメント小委員会	主 査 名：三橋博巳 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：田村誠邦
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は昨年に引き続き、建築と不動産をつなぐ、空き家問題をはじめとして、建築の再生も含め、建築の終わり方についての議論を行い、具体的な建築社会システムの課題と再編に向けての具体的な方向について検討を行った。 ・ 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：三橋 博巳、幹事：齊藤広子（横浜市立大学）幹事：田村誠邦（アークブレイン）秋山哲一（東洋大学）安藤正雄（千葉大学）中城康彦（明海大学）藤本秀一（国土交通省国）堀 裕典（森記念財団）前島彩子（明海大学）増田幸宏（芝浦工業大学）森田芳朗（東京工芸大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	研究協議会「建築の終活を考える」を開催した。建築をつくる時から、使う、そして最後の終焉を考える重要性と、そのための手法の確立など、建築学としての多くの課題が明らかになった。
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	研究協議会での議論を踏まえ、当初の目標が達成できている。
委員会活動の問題点・課題	メンバーが固定化していることから、主査を交代し、新たなメンバーを加えて、活動を活性化していくことが必要だと考えている。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。